

先行するゼロ デイジットを除去するために Cisco カスタマー 音声門脈 (CVP) コール 存続可能性 アプリケーションを設定して下さい

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

この資料に先行ゼロ デイジットを除去しないために CVP コール Survivability アプリケーションを設定する方法を記述されています。

Mayur Vyas およびリンダ Mordosky によって貢献される、Cisco TAC エンジニア。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CVP
- Courtesy コール (CCB)
- Cisco 音声 XML (VXML) ゲートウェイ

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CVP 9.X
- CVP 10.X

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

背景説明

問題はコールがなされるとき CCB 機能を使用するとき発生する場合があります。 先行ゼロ デイジットはダイヤルされるデイジットから除去することができます。 しかしこれが追加設定を追加するデイジット ゼロの前に付けるために回避策を設定できます。 もう一つのオプションは 1. という値にパラメータ `disableDnisStrip` を設定 することです。 この値が 1 に設定 されるとき先行ゼロ デイジットはダイヤル スtring から除去されません。

問題

コール存続可能性 アプリケーションは先行する 0 デイジットを除去します。

解決策

ステップ 1: ように CVPhas からの `survivability.tcl` ファイル VXML ゲートウェイ フラッシュするにアップロードされてして下さい。

ステップ 2. VXML ゲートウェイへのログイン。

ステップ 3 フラッシュするのコンテンツを表示するためにコマンド `show flash` を実行して下さい。 `survivability.tcl` スクリプトがリストされていることを確認して下さい。 サバイバビリティ スクリプトがリストされていない場合ゲートウェイにサバイバビリティ スクリプトを転送する方法に関する説明 [については CVPINSTALLATION およびコンフィギュレーション ガイドを参照して下さい。](#)

```
VXMLGW# show flash247 58446 Oct 13 2015 22:52:06 +00:00 critical_error.wav
248 5417 Oct 13 2015 22:52:10 +00:00 cvp_ccb_dial.tcl
249 6993 Oct 13 2015 22:52:14 +00:00 cvp_ccb_poll.tcl
250 8836 Oct 13 2015 22:52:16 +00:00 cvp_ccb_vxml.tcl
251 8970 Oct 13 2015 22:52:20 +00:00 cvp_videoconnect.tcl
252 1833 Oct 13 2015 22:52:22 +00:00 cvperror.tcl
253 29552 Oct 13 2015 22:52:26 +00:00 CVPSelfService.tcl
254 10173 Oct 13 2015 22:52:30 +00:00 CVPSelfServiceBootstrap.vxml
255 2458 Oct 13 2015 22:52:32 +00:00 en_0.wav
256 2458 Oct 13 2015 22:52:34 +00:00 en_1.wav
257 2458 Oct 13 2015 22:52:38 +00:00 en_2.wav
258 2458 Oct 13 2015 22:52:40 +00:00 en_3.wav
259 2458 Oct 13 2015 22:52:44 +00:00 en_4.wav
260 2458 Oct 13 2015 22:52:46 +00:00 en_5.wav
261 2458 Oct 13 2015 22:52:50 +00:00 en_6.wav
262 2458 Oct 13 2015 22:52:52 +00:00 en_7.wav
263 2458 Oct 13 2015 22:52:54 +00:00 en_8.wav
264 2458 Oct 13 2015 22:52:58 +00:00 en_9.wav
265 2380 Oct 13 2015 22:53:00 +00:00 en_pound.wav
266 2458 Oct 13 2015 22:53:04 +00:00 en_star.wav
267 1434 Oct 13 2015 22:53:06 +00:00 handoff.tcl
268 126454 Oct 13 2015 22:53:10 +00:00 holdmusic.wav
269 26582 Oct 13 2015 22:53:12 +00:00 pleasewait.wav
270 598 Oct 13 2015 22:53:16 +00:00 recovery.vxml
271 32110 Oct 13 2015 22:53:18 +00:00 ringback.wav
272 7838 Oct 13 2015 22:53:22 +00:00 ringtone.tcl
273 155143 Oct 13 2015 22:53:24 +00:00 survivability.tcl
```

ステップ 4 ゲートウェイで設定されたアプリケーション 設定を表示するためにコマンド `show run` を実行して下さい | **b** アプリケーション。

```
VXMLGW#show run | b applicationapplication service new-call flash:bootstrap.vxml ! service
survivability flash:survivability.tcl paramspace callfeature med-inact-det enable param ccb
id:10.0.1.80;loc:UCCE-RTP-ING;trunks:323 ! service CVPSelfService
flash:CVPSelfServiceBootstrap.vxml ! service ringtone flash:ringtone.tcl ! service cvperror
flash:cvperror.tcl ! service bootstrap flash:bootstrap.tclapplication param ccb
id:10.0.1.80;loc:UCCE-RTP-ING;trunks:323 paramspace callfeature med-inact-det enable ! service
handoff flash:handoff.tcl!
```

ステップ 5. サービス サバイバビリティ アプリケーションのための paramdisableDnisStrip パラメータを設定して下さい。 コマンド **config t** を実行して下さい。

ステップ 6. コマンド ライン アプリケーションを実行して下さい。

ステップ 7. コマンド サービス サバイバビリティを実行して下さい。

ステップ 8. コマンド パラメーター **disableDnisStrip 1** を実行して下さい。

ステップ 9: コマンド終了を実行して下さい。

Step10. コマンド **wrt mem** を実行して下さい。

```
VXMLGW#config t
VXMLGW(config)#applicationVXMLGW(config-app)#service survivabilityVXMLGW(config-app-param)#param
disableDnisStrip 1Warning: parameter disableDnisStrip has not been registered under cvp-
survivability namespaceVXMLGW(config-app-param)#exitVXMLGW(config-app)#exitVXMLGW#wrt mem
```

ステップ 11 設定を確認するためにコマンド **show run** を実行して下さい | **b** アプリケーション。
新しいパラメータがサバイバビリティ サービスに追加されたことを注意します。

```
VXMLGW#show run | b applicationapplication service new-call flash:bootstrap.vxml ! service
survivability flash:survivability.tcl paramspace callfeature med-inact-det enable param
disableDnisStrip 1 param ccb id:10.0.1.80;loc:UCCE-RTP-ING;trunks:323 ! service CVPSelfService
flash:CVPSelfServiceBootstrap.vxml ! service ringtone flash:ringtone.tcl ! service cvperror
flash:cvperror.tcl ! service bootstrap flash:bootstrap.tclapplication param ccb
id:10.0.1.80;loc:UCCE-RTP-ING;trunks:323 paramspace callfeature med-inact-det enable ! service
handoff flash:handoff.tcl !
```